

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:山田【定数1】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	齊藤 善和	農業 ・ 64 ・ 男	明治大学 工学部 建築学科 (昭和57年4月～昭和61年3月 卒業) 清水建設株式会社(昭和61年4月～令和9年1月) 農業(令和6年4月～現在) 寺山川下農家組合組合長(平成30年4月～平成31年3月) JAいるま野農業協同組合支部長(令和6年4月～令和7年3月) 中型免許(昭和57年9月7日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻(米) 農業従事年数 12年 年間農業従事日数 200日／年 耕作面積 100アール	岡部 賢司	農業 ・ 76 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 齊藤氏は12年前から会社員との兼業で水稻栽培に携わり、令和6年から大型農機を導入し本格的に農業経営に取り組んでいます。こういったことから地域農家の方々から頼られ若手農業者の中心的存在として地域農業の発展に貢献しています。 また、寺山川下農家組合長やJAいるま野農業協同組合寺山支部長等を歴任し、地域農業の状況や農家事業などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど地域における信任が厚く担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止・解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献出来ると考えることから、齊藤氏を推薦します。 【候補者の抱負】 近年、山田地区においても遊休農地が増加しています。 農地利用最適化推進委員として、地区の農業者と話しあいながら遊休農地の発生防止や解消に取り組んでいきたいと考えています。 また、地域の農地利用の最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えており、農業を通して地域の活性化を行っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	山田	無

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業・ 年齢・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業・ 年齢・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2 応募	安 永 知 広	農業・ 48・ 男	日本農業実践学園 経営部 本科 (平成9年4月～平成11年3月卒業) (有)グリーンサービス(平成11年4月～平成20年11月) (有)新井農園(平成22年4月～平成24年9月) 石川商事(株)自動車リサイクルセンター (平成24年9月～平成31年2月) 農業(令和元年1月～現在) (株)CRS埼玉(令和8年9月～現在) 福島県農業青年クラブ連絡協議会副会長 (平成18年4月～平成19年3月) 農業機械士(機械)(平成17年1月6日) フォークリフト運転技能講習(平成18年3月20日) けん引(農耕車限定)免許 (平成19年12月18日) 日商簿記検定2級合格 (平成23年2月26日) 車両系建設機械(新解体)運転技能講習(平成28年1月17日)	経営形態 兼業 営農類型(主な作物) 水稻 農業従事年数 8年 年間農業従事日数 150日/年 耕作面積 4307ール	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 市内にて兼業で稲作経営をしています。直播水稻の作付を来年度1.5ha拡大して4.3haとし、更なる経営拡大を目指す上で、分散化の著しい現状の農地の集約化を促進し、農作業効率向上による作業コスト削減等の必要性を日夜痛感しております。そんな折、「担い手への農地の集積・集約化を始めとした農地の利用最適化の推進に熱意と識見を有する者」との当委員の募集要項から、率直に自らが最適任であると応募致した次第です。 【抱負】 ・農地中間管理機構(農地バンク)の周知強化… 言うまでもなく、農地の貸借は農地中間管理機構(農地バンク)を介した契約のみであると義務付けられておりますが、自らも実際にこれらの農地貸借活動をする中、依然周知が不十分であるとの認識でいます。当委員の活動の中で周知徹底を当然していく所存です。また、申請書の様式も従来より煩雑であり、改善の余地を農政課職員とも連携の上、模索していきたく思います。 ・農地の適正利用・遊休農地発生防止に向けた地権者への積極的注意喚起・指導徹底… これまでも、農業委員会事務局による農地パトロールや当委員による月当たり8日間の農地利用最適化への活動が実施されて来たであろうにもかかわらず、少なくとも我が地区においては改善がほとんど見られていない事態に、これまで一体何をしてきたのかと四六時中、憤りを覚えております。既に農地の貸借・売却の意向が示されていても実行されずに膠着状態のケースも多く政治・行政全体の課題であると言えます。只それ以前に、遊休農地化しているにもかかわらず、担い手への貸し出しを特段の事情無く頑なに拒んでいる地権者も見受けられますが、地権者の意思だからと平然と見過ごられているのが現状であり論外です！…こうしたケースには、活動の中において地権者の方には農地の所有するに当たっての責任と周辺地域への影響等の認識を強く促すべく指導を徹底していく所存です。 ・農地の分散化解消、集約化の実行… 農地の分散化解消、集約化の可否は、特に稲作経営者にとっては言うまでもなく死活問題であり、緊急課題です！…巨額な公費を投じて基盤整備をせずとも、農地所有者同士名義交換を活性化させる事で農地の分散化を多少なりとも解消出来れば日々の農作業は格段に楽になり、後の世代への負担も大幅に軽減出来ます。委員となった際は、活動の中でこれらの提案・手続等の斡旋・委任状を用いての仲介等、時間の許す限り実施していく所存ですが、それ以前に私自身が実際に経営規模拡大の活動をする最中、これまで担い手への農地の集積・集約化を掲げて当委員の職責に就いていたであろう皆の方々、並びに農業委員会事務局自身・議会・市長・JA等に上記の提案・訴えを再三して参りましたが、「今までやったことが無い」「難しい」「そもそもそうした発想自体無い」等、これらに対する意欲の著しい欠如には、只々愕然とする有り様であり、まずはこれらに関わる方々全ての意識自体の改善を問題提議しなくてはなりません。また、この様に声を挙げた者が地域社会において波風を立てて秩序を乱す厄介者的存在となる事態は断じて許されるものではありません！…関係機関等による第3者的な積極的現場介入の実施を、前述の遊休農地に対する指導徹底と合わせて地権者の意思とか農地貸借は個々の事案などと言わず、重ねて訴えていく所存です。 市民の皆様におかれましては、HP上で公開されているとおり、今回、当委員にどの様な応募があり、選任された委員が今後どの様な活動をするのか是非とも注視して頂ければ幸いです。	山 田	無

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:芳野【定数2】

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1 推薦	田口 秀明	農業 ・ 57 ・ 男	埼玉県農業大学校 園芸科(昭和62年4月～平成元年3月卒業) 農業(令和元年～現在) 鴨田第1自治会会長(平成28年4月～平成29年3月) 中型免許(昭和62年3月20日) 大型特殊免許(昭和62年)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻、露地野菜、施設野菜(トマト、小松菜、スイートコーン、水稻) 農業従事年数 37年 年間農業従事日数 360日/年 耕作面積 1957ール	大野 美智明	農業 ・ 67 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 田口氏は、農業を引き継ぎ、就農から38年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。 田口氏は、地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。又、地域の農業の状況や農業の事情などに明るく地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止解消など農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから、田口氏を推薦します。 【候補者の抱負】 農地利用最適化推進委員として、担い手への農地利用の集積・集約化を図り、遊休農地の発生防止・解消に取り組んでいきたいと考えています。 芳野地区においても農業者の高齢化により、遊休農地の増加が加速する可能性が高いと予想されます。担い手の発掘や育成に取り組む地域農業の活性化を図っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	芳野	無	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:南古谷【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
1	推薦	沢田 邦彦	農業 ・ 73 ・ 男	東洋大学 経済学部 経済学科 (昭和46年4月～昭和50年3月 卒業) 一般社団法人埼玉県環境事業振興協会 (平成6年3月～平成25年3月) 農業(平成25年4月～現在) いるま野農業協同組合南古谷支店支部長・総代 (平成23年4月～平成29年10月) 荒川右岸用排水土地改良区理事 (平成24年11月～平成28年10月) 荒川右岸用排水土地改良区監事 (平成28年11月～令和2年10月) 中型免許(昭和48年7月30日) 大型特殊(農耕車に限る)免許(令和5年11月28日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻(米) 農業従事年数 13年 年間農業従事日数 230日/年 耕作面積 150アール	栗原 政仁	農業 ・ 72 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 沢田氏は現在農業に携わっている他、JAや 荒川右岸用排水土地改良区の役員を歴任する等、農業に関わる豊富な経験と知識を有しています。 沢田氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。また、地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できることから推薦します。 【候補者の抱負】 近年、南古谷地区においても農業者の高齢化が進行し、また後継者未定の状態が続く中、労働力不足等が要因となる遊休農地や耕作放棄地が増加傾向にあります。地域農業経営には、厳しい労働環境の改善や気候変動など多くの外的要因で不安定な経営状態への対応など新たな課題も多く発生しております。 農地利用最適化推進委員として、遊休農地の発生防止や解消、農地利用最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えており、農業を通して地域の活性化を行っていきたくて考えておりますのでよろしくお願いいたします。	南古谷	無

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
2 推薦	細野 健一	農業 ・ 64 ・ 男	日本大学 農獣医学部 農業工学科 (昭和56年4月～昭和60年3月 卒業) 川越市役所(昭和60年4月～令和5年3月) 農業(令和5年4月～現在) 荒川右岸用排水土地改良区総代(令和6年10月～現在) 南田島農地保全組合会計(令和4年4月～現在) 普通免許(昭和55年5月28日) 大型特殊免許(令和2年7月)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 水稻、露地野菜 (米) 農業従事年数 42年 年間農業従事日数 240日/年 耕作面積 2157アール	栗原 政仁	農業 ・ 72 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 細野氏は農業を引き継ぎ、就農から約41年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。 細野氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として土地改良区や農地保全組合などの活動にも取り組み、地域農業の発展に貢献しています。また、地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど、地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できることから推薦します。 【候補者の抱負】 近年、南古谷地区においても農業者の高齢化、後継者不足等から遊休農地が増加傾向にあります。 農地利用最適化推進委員として、地区の農業者との話し合いを通じ遊休農地の発生防止や解消に取り組んでいきたいと考えています。 また、地域の農地利用の最適化を目指し、担い手の掘り起しや育成に取り組むほか、地域計画と連携した担い手への農地の集積。集約を進めるなど地域農業の維持、発展のため農業委員と協力して活動していきたいと考えております。	南古谷	無	

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経	歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
3 応募	小泉 茂	こい ずみ 行政 書士・ FP事 務所 (自 営) ・ 64 ・ 男	明治学院大学 社会学部 社会学科 (昭和56年4月～昭和60年3月 卒業) 株式会社タカキュー店長(昭和60年～平成12年4月) 株式会社スウェーデンハウス店長(平成12年5月～令和7年3月) こいずみ行政書士・FP事務所代表(令和7年12月～現在) 民生委員(南古谷地区渋井)(令和7年12月～現在) 普通自動車免許第一種運転免許(昭和58年8月23日) 中学校教諭一種免許状(社会科)(昭和60年3月31日) 1級ファイナンシャルプランニング技能士(資産設計提案業務) (平成20年11月12日) 宅地建物取引士(平成24年3月6日) 行政書士(令和7年11月15日)	経営形態 農業経営を行っていない 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 行政書士として相続や農地に関する相談に携わる中で、農業者の高齢化や後継者不足、農地の承継・活用の難しさを身近に感じています。 農地利用最適化推進委員として、地域の農業者の声を直接伺い、農地の適正利用や担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の確保に関わり、地域農業の持続的な発展に貢献したいと考え、応募しました。 【候補者の抱負】 農地の現地調査や農業者への聞き取りを丁寧に 率に行い、農地の状況だけでなく、所有者や耕作者が抱える事情や意向を把握することを大切にしたりと考えています。 その上で、担い手への農地の集積・集約化や遊休農地の解消、新規就農者とのマッチングなど、関係機関と連携しながら、一つひとつの農地を次の担い手につなぐ活動に取り組みます。 行政書士・ファイナンシャルプランナー(FP)としての経験も生かし、公平・誠実な現場活動を心掛けます。	南古谷	有	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名:高階【定数1】

推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
			学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1 応募	藤幸 誠悟	行政書士・77・男	東京大学 法学部Ⅱ類(昭和43年4月～昭和47年3月 卒業) 住友電気工業(株)(昭和47年4月～昭和48年10月) 中央政策研究所(昭和48年11月～昭和50年3月) 東京都庁(昭和50年4月～平成21年7月) 第一環境(株)(平成21年9月～平成26年7月) 川越市農業振興審議会委員(令和7年3月～令和9年2月) 普通自動車免許(昭和43年8月) 社会保険労務士(平成24年) 行政書士(平成30年4月15日)	経営形態 農業経営を行っていない 営農類型(主な作物) 農業従事年数 2年 年間農業従事日数 耕作面積 10坪(市民農園)	—	—	—	—	—	—	【応募理由】 「土地買いますか？3000坪ほどあるけど、市街化調整区域にあるので、どうしようない」と、たまたまお会いした近所の人に言われた。いわゆる遊休農地である。 以前、川島町で、4000坪の土地を乗馬クラブに転用しようとした業者が、「市街化調整区域にあるので、転用はできない」と言われた例もある。 遊休農地をめぐるミスマッチを解消できないかというのが、応募の動機である。 【候補者の抱負】 まず、「遊休農地バンク」のようなもので情報を提供する。需要と供給のマッチングが実現するかもしれない。数年前に、古谷地区で300坪ほどの農地を太陽光発電に転用する仕事に携わったことがある。需要と供給がマッチングした例である。 資材置き場として、3000坪の土地を探している不動産業者がいたが、適宜、適切な情報提供があれば、マッチングが期待できるかもしれない。	高階	無	

川越市農業委員会の農地利用最適化推進員候補者の推薦又は応募の状況

推薦又は応募する区域名: 福原 【定数2】

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)					推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又は 応募の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦							
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名称 代表者又は 管理人の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件				
1	推薦	森井 伊久雄	農業 ・ 62 ・ 男	筑波大学付属坂戸高校 機械科(昭和55年4月～昭和58年3月 卒業) 農業(昭和59年4月～現在) JALいるま野福原支店総代(令和2年11月～令和5年10月) 普通免許(昭和59年8月20日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 露地野菜 (人参・チンゲン菜) 農業従事年数 45年 年間農業従事日数 300日 耕作面積 1307アール	塩川 光男	農業 ・ 71 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 森井氏は農業を引き継ぎ、就農から45年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営に精通しています。 森井氏は地域の農業者の中でも中心的な存在として地域農業の発展に貢献しています。 また地域の農業の状況や農家の事情などに明るく、地域の担い手や出し手の相談役になるなど地域における信任が厚く、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など、農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられるから森井氏を推薦します。 【候補者の抱負】 福原地区も後継者不足、高齢化問題、地域の農業者と話し合って農業の活性化を図っていきたいと思います。 また、地域農地利用の最適化を目指し、担い手の発掘や育成に取り組むなど、担い手への農地の集積・集約を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。	福原	無	

	推薦 又は 応募 の別	被推薦者(推薦を受ける者)又は応募者(応募する者)				推薦者(推薦する者)						推薦又は応募の理由	推薦 又は 応募 する 区域	農業委 員への 推薦又 は応募 の有無
		氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	経 歴	農 業 経 営 の 状 況	個人による推薦		法 人 又 は 団 体 に よ る 推 薦						
				学歴 職歴 公職歴 その他の職歴 免許・資格・表彰歴	経営形態 営農類型(主な作物) 農業従事年数 年間農業従事日数 耕作面積	氏 名	職業 ・ 年齢 ・ 性別	組織の名 称 代表者又 は管理人 の氏名	活動の主 たる目的	構成員の 数(人)	構成員の 資格要件			
2	推薦	吉田 哲夫	農業 ・ 67 ・ 男	川越農業高校 園芸科(昭和50年4月～昭和53年3月 卒業) 農業(昭和53年4月～現在) JAいるま野福原支店総代(令和5年11月～令和8年10月) 普通免許(昭和54年10月25日)	経営形態 専業 営農類型(主な作物) 露地野菜 (小かぶ、枝豆) 農業従事年数 49年 年間農業従事日数 200日/年 耕作面積 2407ール	塩川 光男	農業 ・ 71 ・ 男	—	—	—	—	【推薦理由】 吉田氏は農業を引き継ぎ、就農から49年の経験があり、農業者として豊富な経験を有し、農業経営にも精通しています。また、農地の利用集約化に自ら積極的に取り組み、営農を行っているなど地域の農業の発展に貢献しています。また、吉田氏は地域の農業の事情などに明るく、地域において後進の就農者への助言や農地の出し手の紹介など、担い手への支援を行うなど地域における信任が厚いことから、担い手への農地集積や遊休農地発生の未然防止、解消など農業委員会が行う農地利用最適化の推進に貢献できると考えられることから、吉田氏を推薦します。 【候補者の抱負】 近年、福原地区も高齢化、後継者不足が進行しています。農地利用最適化推進委員として、地域の農業者と話し合いながら、農業の活性化を図っていきたいと考えています。遊休農地の発生防止、担い手の発掘や育成に取り組んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。	福原	無